



両親の不仲、虐待の経験から親になることに戸惑う夫婦。出産予定日に我が子を失った夫婦。子どもを望んだものの授けられない人生を受け入れた夫婦。完治しない障害を持つ子を育てる夫婦。全てが「うまれる」ストーリーです。



子宮出身のすべての人たちへ贈る感動のドキュメント

この映画は、たんなる出産ドキュメンタリーなどではなく、出産を切り口にした『親子の物語』なのだと思う。親に、深く、深く、感謝した。

乙武洋匡
(作家)

私に関わってくれるすべての人に「本当に本当にありがとうございます。また政治家という立場からも何ができるか考えさせられる映画でした。

小淵優子
(衆議院議員 元少子化対策・男女共同参画担当大臣)

生きていろいろ腹立つことあるけど、結局、うまれたから愛する人と出会えたんだ。悲しくない涙がたくさん出ました。

鈴木おさむ
(TBS ドラマ『生まれる。』脚本家)

私は子供を産まずに45歳になりました。でも、それは欠陥ではないよ、とってもらえた気がしました。そう思ったら涙が止まりませんでした。

さかもと未明
(漫画家・タレント)

“僕はただ、両親と仲直りがしたくて、この映画を作ったのかもしれない”

自分は愛されているんだろうか… 自分は本当にこの両親の子どもなんだろうか… 物心ついた時から、僕はそう思っていました。4歳年下の弟が右目が半分開かない状態で産まれてきたことから、両親は弟の事で精一杯。僕は「親の愛情」というものを、知らずに育った気がしていました。

自分はなぜうまれてきたのか、何のために生きているのか… 自分の存在価値がよくわからなくなり、結婚や子どもを持つことに、全く夢を描けませんでした。

そんなある日。講演会で「赤ちゃんは雲の上で親を選んで生まれてくる」という胎内記憶の話の話を聞きました。

自分は好きでうまれてきたんじゃないし、子どもは親を選べないはずと思っていた僕は、非科学的でファンタジーな話とは思いつつ、心から感動したのです。

自分が選んだのかも、と考えると、いまの親子関係は自分にも責任があるのでは、自分も本当は愛されていたのでは… 長らく抱いていた否定的な感情が少しずつ消えていくのを感じました。


「うまれる」ことを映画にしたい！命の原点に向き合うことで、僕自身、両親との関係を築き直せるかもしれない……。

それから3年あまり。何十組ものご家族、ご夫婦を取材・撮影させていただきましたが、「うまれる」ことを知れば知るほど、その奥深さと神秘に僕は圧倒されました。

産まれてくること、そして生きることは、まさに奇跡の連続。頭では分かっている命の尊さ、感じる機会ってどのくらいあるのでしょうか？ 全身の細胞全部で、映画のメッセージを受け止めていただけたらうれいします。

企画・監督・撮影 豪田トモ



あなたの町で映画『うまれる』を上映しませんか？
自主上映会サービスの詳細 & お申込は公式 HP より 

うま れる

ナレーション：つるの剛士 企画・監督・撮影：豪田トモ
製作：インディゴ・フィルムズ / 配給・宣伝：マジックアワー
© 2010 「うまれる」パートナーズ LLP
2010 / 日本 / カラー / HD-35mm / 104分 / ビスタサイズ / DTS STEREO
www.umareru.jp

命のドラマが書籍になりました。
「うまれる かけがえのない、あなたへ」
豪田トモ著 PHP 研究所 1,470円(税込)

上映にあたり協賛をいただいた皆様、ありがとうございました。

エリゼこどもクリニック 坂井医院 **ASKUL** (株丸山工務店)
おかの小児科 笠井小児クリニック 小泉歯科医院 斉藤久也 佐野みそ(株) 寿康会病院 竹内小児科医院
(株)ファクト 福井クリニック 正木医院 (株)明治 (株)LIXIL レインボータウンエフエム(株) 渡辺こどもクリニック

主催：ホームスタートこうとう、NPO 法人こうとう親子センター 後援：江東区、江東区教育委員会、江東区社会福祉協議会